毎月10日発行

昭和31年9月第3種郵便物認可

広報ひゅうが

1967 5月号 No. 144

発行所 日向市役所
編集人 総務課 文書広報係

○……とじておくと便利です……○

住宅団地を造成

日知屋と財光寺の二カ所で

いま財光寺の川路地区と日知屋の東川尻地区で、住宅団地の造成が行なわれています。

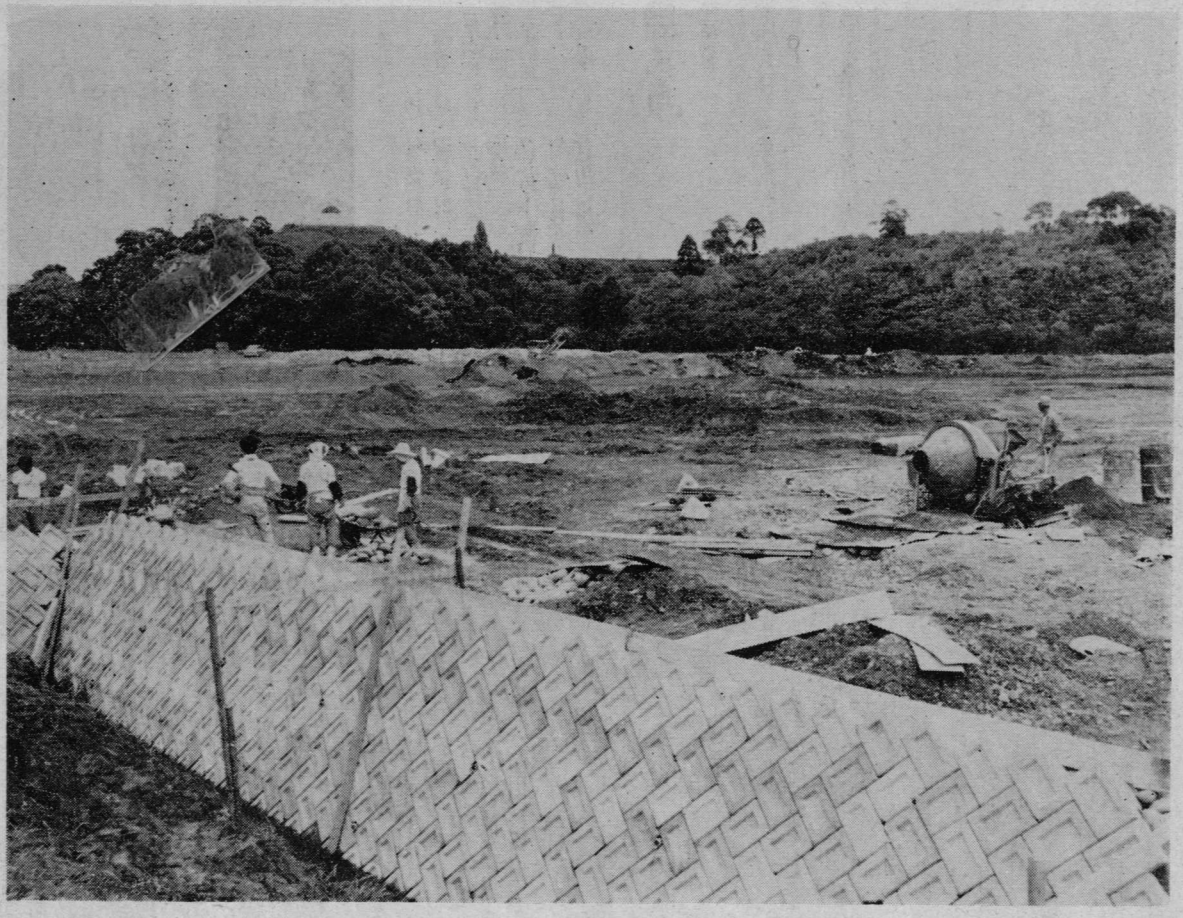
この造成は、財光寺地区を県住宅供給公社が行なっているもので「塩見川団地」と呼び、日知屋地区は日向地域住宅生活協同組合が行なっているもので、「高砂団地」と呼ばれています。

塩見川団地は、塩見橋から比良町へ通じる道路から塩見川の堤防添いに三万六千平方㍍のたんぼを埋め立てるもので、現在では、埋め立て工事はほとんど終り、団地内の道路、排水溝などの工事にかかっています。

全工事の完成は七月末日で、ここには百戸の住宅を建設する予定です。

高砂団地は、国道十号線と塩見川に添った県道細島新財市線、日豊本線に面した約六万六千平方㍍のたんぼを埋め立てるものです。

ここは、二百一戸の住宅が建設できるだけの団地を造成するもので、ここも現在では、埋め立ては終り、団地内の道路や排水溝の工事にかかっていますが、六月中には完成する予定です。



写真は……塩見川団地の造成工事

昭和31年9月第3種郵便物認可

新しい議員決まる

市議会議員選挙

投票率も90パーセントを越す

さる四月二十八日に行なわれた市議会議員選挙の結果、次の三十人が新しい議員に決まり、これから四年間、市の議決機関として、市民の要望はもとより、市政発展のためにご尽力願うことになりました。

市議会の所属別新分野は、無所属二十四人、日本社会党三人、公明党三人となっています。

また、新しい議員を大字別に見ますと、日知屋地区が九人、細島財光寺地区がそれぞれ四人、富高塩見、新町地区が各三人、平岩・美々津地区が各二人となっております。

なお、今回の選挙の競争率は、定員三十人に対して四十八人が立候補しましたので、一・六倍でした。

新議員の氏名は次のとおりです

写真は……当選証書附与式

日高　達吉	無	本町十三―十	
山口　茂	社	富高新財市	
山本　孫春	無	塩見新財市	
林　賢太郎	社	北町四―十一	
三輪賢一郎	無	細島	
田中金次郎	無	日知屋下原町	
渋谷　作一	無	財光寺往還	
宮本　増雄	無	日知屋亀崎	
鈴木　正	無	富高本谷	
治田　明	無	財光寺比良	
治田　繁雄	無	財光寺比良	
松木　一郎	公	財光寺山下	
奈須　勇吉	無	塩見奥野	
黒木　進	無	日知屋庄手	
疋田　清	無	細島	
日高　勝義	無	日知屋梶木	
古川　義信	社	美々津	
松葉　弥市	無	平岩本宮	
柏田　勝	無	日知屋畑浦	
柏田　利彦	無	日知屋江良	
江藤　満治	公	日知屋亀崎	
黒木　利一	無	美々津田ノ原	
壱岐　栄治	無	塩見中村	
小城　重正	無	日知屋江良	
黒木　秋好	無	都町十三―六	
安藤　幸男	無	細島	
黒木　鶴雄	公	日知屋	
児玉　唯治	無	平岩金ケ浜	
中村　詮	無	富高中原	

グント上がった投票率

投票率も、私たちに最も身近かな選挙だっただけに、知事・県議選の投票率八十一・五一パーセントをはるかに上回る九十・八パーセントでした。

これは昭和三十八年に行なわれた市長・市会議員選挙の投票率八十九・八七パーセントを約一パーセント上回っています。

中でも農村地域の投票率は特に良く、西川内投票所の九十八・四六パーセントをトップ、本谷の九十七・一、庄手の九十六・七六、余瀬の九十六・五五、鵜毛の九十六・三五、奥野の九十六・二三…と十カ所の投票所までが九十四パーセント台を上回る好成績を収めました。

子どもを水の事故から守ろう

陽気を迎えて、児童・幼児たちの水に親しむ季節になって参りました。

子どもたちの水遊びや、魚釣りは、危険な場所では絶対させないようにしてください。

水死者も、本年になってから県下で、すでに八人を出し、このうち七人は幼児の転落による死亡となっていますので、次のことについては特に気をつけてください。

一、河川や用水路、排水路、池、水たまりなどで、児童、幼児があやまって、転落するような場所には安全な防護さく（扉、囲）等をつけて立入らせないようにするとともに危険な場所または、その附近では幼児をひとり遊びさせないよう保護監督にじゅうぶん気をつけてください。

二、降雨またはダム放水のため増水するおそれのある川、池、堀、用水路または、工事の行なわれている附近を通学する児童、生徒に対しては、家庭においてじゅうぶん気を配り注意してください。

三、児童・幼児の日常のありふれた遊びから思わざる不慮の災難を招く事例が多いので子どもの遊びに対しては、みんなで注意して楽しい安全な遊びと健全な指導育成に協力いたしましょう。

四、余暇を利用してみんなで地域ごとに話し合って子どもたちの安全な遊び場を作ってやりましょう。

役所への苦情・意見等は

行政苦情相談所へどうぞ

「道路はよくなったが、かさ上げされたので排水が悪くて困っている。」、「年金が貰えるはずなのにまだ支給されない。」など国や県市に不満や苦情はありませんか。役所が行なっていることでお困りのことがありましたら「行政苦情相談所」が五月二十六日午前十時から午後三時まで市役所で開かれますから何んでもご遠慮なくご相談ください。（民事、刑事問題は受付けません。）申し出の際は、できるだけ申し出内容に関する書類があれば苦情を早く処理するのに役立ちますから持参ください。

なお、当日相談に出て来られないかたは、後日相談内容を行政相談委員の黒木秋好さん（都町十三番六号）に申し出てください。いつでもご相談に応じます。相談内容は秘密が守られ、相談料はいりません。

昭和31年9月第3種郵便物認可

事故を起さないように！

犠牲者にならないように！

春の交通安全運動5月22日～5月31日

写真は……わたる人の少ない横断歩道
（老人と子どもが渡っている）

〝交通戦争〟などということばは、すでに耳新しいものでなくなりましたが依然として、毎日毎晩この状態が続いており、今年に入ってから日向警察署管内で、四月二十七日現在、すでに百四十七件の交通事故が発生し、二人の尊い命がなくなり、百三十八人がけがをしております。

交通事故は決して天災ではありません。道路を利用する総ての人が、交通ルールを正しく守ることによって事故は防げるものです。一日増しにふえていくこれら悲惨な事故を一件でも減らそうと今年も春の全国交通安全運動が五月二十二日から五月三十一日まで実施されます。

交通事故を起さないように、また、事故の犠牲にならないように次の点については特に注意してください。

一、道路を歩く人

(イ) 道路を横切るときは、左右をよくみてサッサと渡り、近くに横断歩道があるときは、手を上げ必ず横断歩道を渡りましょう

(ロ) 車の前や後を横切るのはもっとも危険です、やめましょう。

(ハ) 幼児のひとりあるき、子どもの〝飛び出し事故〟がふえています、やめさせましょう。

二、自転車に乗る人

(イ) 自転車の二列進行は危険です（一万円以下の罰金または科料）

(ロ) 左側端を一列に通りましょう。道路を曲るときは、必ず三十メートル手前から手の合図をして安全を確認して曲りましょう

(ハ) 自転車の二人乗り、無灯火、酔っぱらいが大きな事故の原因となり、ふえています。絶対やめましょう。

三、車を運転する人

(イ) スピードの出し過ぎ、無理な追越し、酔っぱらい運転がもっとも危険です、絶対にやめましょう。

(ロ) 二輪車は必ずヘルメットをかぶりましょう。

(ハ) 道路を横断している人には、必らず道を横断しましょう。

踏み切りでの事故防止

踏み切りでは左右を確認して渡りましょう。

。警報機が鳴っている時は踏み切りは渡れません。

。踏み切りでいったん停車してから運転をはじめるときは、警報機は鳴りやんでいるか イ、警報機は鳴りやんでいるか ロ、左右はだいじょうぶか、よく確認して渡りましょう。

。自転車もいったん停車して左右を確認しましょう。

。本線の列車が通り過ぎても、反対の細島方面から又列車がくることがありますので注意してください。

赤ちゃんへ生ワクチンの投与を！

小児マヒは生後6カ月から2歳までの乳幼児に最も多く流行いたしますので、その予防として経口生ポリオワクチン投与を、次の日程により実施いたします。

昭和40年11月1日から昭和42年1月31日までに生まれた乳幼児は必ず受けてください。

1．日時場所

実施月日	接種場所	時間
5月23日	比良公民館	午後2時～3時
24日	江良公民館	午後1時～2時
24日	細島小学校	〃　3時～4時
25日	三股病院	〃　2時～3時
25日	渡辺病院	〃　3時30分～4時30分
26日	市役所別館	〃　1時～2時
26日	市役所別館	〃　2時30分～3時30分

2．料　金……60円

（ただし、生活保護家庭および市税の均等割、非課税家庭については無料証書持参のこと）

3歳児の健康審査を行ないます

身体および精神の発達が最も重要な時期にある3歳児に対して、その発育状態や栄養の良否、歯牙の検査とあわせて、し体不自由、精神薄弱、視力、聴力障害など各種心身障害の早期発見を図るための総合的な健康診査を次の日程により実施しますので、3歳児をおもちの方はぜひこの診査を受けてください。

1．日程場所

実施月日	区域	場所
5月18日	富高地区	日向保健所
5月19日	日知屋地区 塩見地区	日向保健所
5月22日	細島地区	細島みどり幼稚園
5月23日	財光寺地区 岩脇地区	日向保健所
5月25日	美々津幸脇地区	美々津支所

（受付は各場所とも午後1時から2時まで）

2．料　金……無料

3．対象者……上記診査日で満3歳から4歳未満のもの

（38年5月18日から39年5月25日生まれの者）

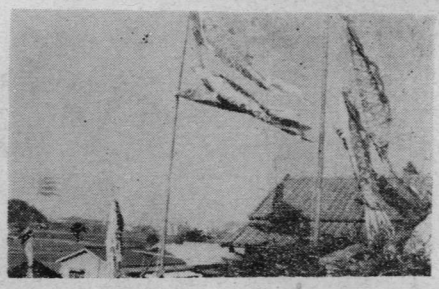
老齢福祉年金の受給者は

所得状況届をしてください

満七十歳になって老齢福祉年金（障害、母子年金を含む）を受けておられるかたは、毎年五月に所得状況届をすることになっていますので、年金証書および印鑑（公的年金、戦争公務扶助料受給者も同じ）を持参のうえ次の日程により届出をしてください。

地区名	月日	場所
富高	5月15日	市役所
日知屋	5月16日	市役所
塩見	5月17日	市役所
財光寺	5月18日	市役所
細島	5月19・22日	細島支所
平岩	5月23日	岩脇支所
幸脇	5月24日	幸脇出張所
美々津	5月25・26日	美々津支所

時間は、市役所が9時から、その他は10時から午後4時までです



5月のこよみ

11日　木　区長総会
　　生活学校開校式
12日　金　防火管理者講習会（13日まで）
15日　月　臨時市議会
　　日向市青色申告会総会
17日　水　日向市交通対策協議会
　　夏期こ牛品評会
19日　金　婦協部落長会
20日　土　優良乳児表彰式
21日　日　市ろうあ福祉協総会
23日　火　踏み切り事故防止対策協議会
25日　木　八市商工観光課長会（市役所）

人口　（5月1日現在）

男　21.540人
（前月より142人の増）
女　23.390人
（前月より103人の増）
計　44.930人
（前月より245人の増）
世帯数　11.274世帯
（100世帯の増）

子どもの問題なら
家庭児童相談室へどうぞ

昨年四月市役所内に開設された「日向市家庭児童相談室」の利用者も日ごとに増加し、昨年度における実績は次のとおりでした。

今後も、子どもの問題についてのご相談は遠慮なく相談室をご利用ください。

なお、相談室には、九時から午後五時まで二人の相談員が皆さんのご相談に応じておられます。

相談対象者の年令別件数

一、三歳未満児	十六件
二、三歳児	十六件
三、四歳以上未就学児	二十四件
四、小学校低学年	十五件
五、小学校上学年	十八件
六、中学生	二十九件
七、高校生	三件
八、その他	八件
九、計	百二十九件

相談の種別件数

一、性格・習慣・生活	一件
二、知能・言語	九件
三、学校生活など	九件
四、非行	七件
五、家族関係	三件
六、環境・福祉	四十九件
七、心身障害	三十七件
八、その他	十四件
計	百二十九件

この百二十九件の相談についての処理は、児童相談所や他の専門機関への紹介とか専門職員の指導助言、また保育所、助産施設等への入所措置を行なうなど誠意をもってあたっておられます。

「家庭の日」の体験文募集

県では、青少年健全育成対策の「環として推進している「家庭の日」の意義を、より正しく理解させ、実践を促す一助として、一般から作文を募集するものです。

一、題名（内容）
　わが家の「家庭の日」
　（実践してきた「家庭の日」を描写したもの、あるいは「家庭の日」をもってよかったという感想を述べたもの）
二、字数　四百字詰原稿用紙五枚以内、原稿のはじめに住所、氏名（ふりがな）、年令、職業を明記のこと。
三、応募資格、本県在住者（児童生徒、学生は除く）
四、締切り、七月三十一日まで
五、送り先　宮崎局区内
　宮崎県庁婦人児童課あて
六、発表　八月下旬
七、賞　入選作品には賞状および記念品を贈呈する、佳作作品には記念品を贈呈する。

くわしいことは総務課へどうぞ

鯉仔を購入したい方は
市商工水産課へ申し込みを

市商工水産課では、稚鯉の申し込みを受け付けていますので、ご希望の方は五月二十五日までに申し込んでください。価格は黒百尾当り三・五センチもの、百三十円、五センチもの、二百六十円、色一尾当り三・五センチもの、二円、五センチもの、四円となっています。

話題を追って

1位に城戸秀仁ちゃん
市の赤ちゃんコンクール

赤ちゃんのコンクールは、4月7日から行なわれた乳児検診と兼て行なわれ、39人の入選者が決まりました。最終審査は、この入選者を対象に5月2日市役所で行なわれ、1位に城戸秀仁ちゃん、男12カ月（公園通）、2位に山根一洋ちゃん男10カ月（新財市）と長野明美ちゃん、女11カ月（別府中）、3位に中城雅明ちゃん、男8カ月（北町）と黒木千夏ちゃん、女12カ月（曾根）、橋口由紀子ちゃん、女10カ月（山下）が選ばれました、表彰式は20日の10時から市役所で行なわれます。

就職先の子どもと声の対面
四日市市との「ふるさと電話」で

市内と門川町内の中学校を卒業して、三重県四日市市の東洋紡績塩浜工場に就職している子どもと親の声の対面「ふるさと電話」が4月19日商工会議所会議室に特設された電話でかわされました。

これは、四日市市電報電話局が2万台突破を記念して行なったもので、同工場には市内や門川町から26人が就職しています。

同日は、市長や電話局長の通話が済んだあと、待ちかまえていた13人の父兄が次々に「元気ネ」「手紙を出さんネ」……1時間にわたってかわされました。